除雪機購入の補助制度について



大蔵村では除排雪の負担軽減と地域の自助と共助推進のため、
除雪機の購入に際して、補助金を交付します。

①家庭用除雪機

対　象　者：大蔵村に住所を有する個人で、村税等の滞納がない者
対象除雪機：①新品の自走式小型除雪機
②農耕用機械に装着する新品の除雪用アタッチメント
※個人間の売買により取得した除雪機は対象となりません。
補助金額：購入経費の４分の１（１０万円を限度とします。）

②地区自治会用除雪機

対　象　者：地区自治会（地区代表が申請してください。）
対象除雪機：新品の自走式小型除雪機
※村道、私道、公共施設、要援護者の住宅などを地区住民が
共同して除雪することを目的としたものに限ります。
補助金額：購入経費の２分の１（５０万円を限度とします。）

◎申請について

申請される方は、購入する前に企画課政策推進係まで申請してください。
（申請書は大蔵村公式ホームページからもダウンロードできます。）
なお、申請には申請書の他に次の書類が必要になります。
１．見積書の写し
２．カタログ等の写し
※予算の範囲内での補助金交付となります。予算がなくなり次第終了となる場合がありますので、ご了承ください。

〇申請及び問合せ先
大蔵村役場企画課政策推進係　75-2105（内線 232）

第二弾

やまがた防災テスト

実施期間

令和8年11月16日（月）～令和9年1月15日（金）



その時、あなたはどう動く？

災害は"いつか起こるもの"ではなく、"今ここで起こるかもしれないもの"です。
自分や大切な人の命を守るため、テストを通して災害を自分事と捉え、
いざという時に「動ける力」を育てましょう。

山形県で起こりうる自然災害の一例



やまがた防災テスト概要

受検期間	令和8年11月16日（月）～令和9年1月15日（金） ※期間中は何度でも受検できます
受検方法	オンライン（スマートフォン、パソコン等）
受検資格	どなたでも受検できます
受検料	無料
問題数	**小中学生向け** 2ジャンル各10問 **大人向け** 3ジャンル各10問
合格基準	８割以上の正解で合格 ※合格者には合格証が発行されます（WEB上）

やまがた防災テスト
WEBサイトはこちら
▼

合格者プレゼント

総勢70名様に当たる！

全ジャンル合格＆
アンケート回答で応募完了！
抽選で防災グッズをプレゼント！

甘くておいしい非常食で、備蓄を考えるきっかけに。



1等（10名様）
「甘い非常食！こころ咲くBOUSAIBOX」

コンパクトな防災グッズで、もしもの備えを身近に。



2等（60名様）
いつもみまもる・携帯コンパクト防災１１点セット

※写真はイメージです。

応募資格　［小中学生向け］全ジャンル合格した方で、15歳以下の方
［大人向け］全ジャンル合格した方（年齢は問いません）

内容は予定であり、変更する場合があります。

お問い合わせ　山形県防災くらし安心部 防災危機管理課 防災学習・防災DX推進室
〒990-8570　山形市松波2丁目8番1号
TEL　023-630-2255

事前申し込み
参加無料

知ろう！学ぼう！
地震津波防災の最前線

ライブ配信視聴：定員 1,000 名、事前登録制
アーカイブ配信：どなたでも視聴可能
アーカイブ配信期間：令和９年１月から１年程度

ZOOM
ライブ配信

令和８年度

巨大地震対策オンライン講演会

2026 12月20日(日) SUN
13時30分 ～ 16時00分

気象庁は、巨大地震の発生の可能性が平時より相対的に高まった時には、「南海トラフ地震臨時情報」や「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表します。令和６年８月には、運用開始以降初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表しました。また、令和７年12月には、運用開始以降初めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表し、さらに本年４月にも同情報を発表しました。これらの情報発表により、政府としての特別な注意の呼び掛けがなされ、巨大地震への備えの重要性が改めて認識される機会となりました。

1946年の昭和南海地震から８０年の節目を迎えるこの機会に、改めて地震や津波について理解を深め、日頃から地震に備えていただくためにオンライン講演会を開催します。いざという時に気象庁が発表する情報を最大限活用いただき、被害軽減につなげられるよう、ぜひご参加ください。

第１講座「地震・津波の情報とその利活用」
海老田 綾貴　気象庁地震火山部地震津波監視課長

第２講座「地震防災のこれまでとこれから」
多田 直人　防災庁統括官（防災計画担当）付参事官（調査・企画担当）

第３講座「津波はどこまで予測できるのか？」
馬場 俊孝　徳島大学大学院社会産業理工学研究部・教授

第４講座「巨大地震への備えをどう伝えるか ～テレビ報道の現場から～」
本杉 美樹　TBS テレビ 報道局社会部（気象・災害担当）

詳しくは裏面をご覧ください。

全講座手話通訳付き

ZOOM

Zoom によるライブ配信です。
参加には事前登録が必要です。

事前登録用 QR コード

https://zoom.us/webinar/register/WN_jln06GdqSSCzb052Hat8qw

気象庁 Japan Meteorological Agency

共催：気象庁、防災庁、（一財）気象業務支援センター、緊急地震速報利用者協議会
後援：（一財）全日本ろうあ連盟、地球ウォッチャーズ - 気象友の会 -

お問い合わせ先：講演会事務局　TEL03-6758-3900（気象庁代表）（内線：5153）＜平日9：00–17：00＞
メールアドレス：event@tokyo-seminar-studio.com

令和８年度 巨大地震対策オンライン講演会

知ろう！学ぼう！地震津波防災の最前線

スケジュール　開場 13:00　開会 13:30



第１講座　13:35 - 14:00

「地震・津波の情報とその利活用」

海老田 綾貴

気象庁地震火山部
地震津波監視課長



第２講座　14:05 - 14:30

「地震防災のこれまでとこれから」

多田 直人

防災庁統括官（防災計画担当）付
参事官（調査・企画担当）



第３講座　14:35 - 15:15

「津波はどこまで予測できるのか？」

馬場 俊孝

徳島大学大学院
社会産業理工学研究部・教授



第４講座　15:20 - 16:00

「巨大地震への備えをどう伝えるか ～テレビ報道の現場から～」

本杉 美樹

TBS テレビ
報道局社会部（気象・災害担当）

全講座手話通訳付き

申込方法

ライブ配信は Zoom を用いて行います。参加には事前登録が必要です。
先着順で受付し、定員に達し次第締め切らせていただきます。
下記 URL もしくは QR コードのリンク先より必要事項を記入の上、お申し込みください。

【事前登録 URL・QR コード】

https://zoom.us/webinar/register/WN_jln06GdqSSCzb052Hat8qw

登録後、記入されたメールアドレスに当日参加のために必要な URL が届きます。
ライブ配信では各講演の後に Zoom のチャット機能を活用した質疑応答を行います。
登録されていれば、途中参加・退出は可能です。

問い合わせメールアドレス：**event@tokyo-seminar-studio.com**

【アーカイブ配信について】

講演映像を後日 YouTube 気象庁 / 知識・解説チャンネルによりアーカイブ配信いたします。

＜個人情報の取扱いについて＞
・ご記入頂いた個人情報は本セミナーに関する事務について使用する場合がございます。
あらかじめご了承ください。

＜お問い合わせについて＞
メール：event@tokyo-seminar-studio.com
電話（平日 9:00-17:00）：03-6758-3900（気象庁代表）（内線：5153）
講演会当日は上記メールアドレスへご連絡お願いいたします。



「津波フラッグ」は津波警報等が
発表されたことをお知らせする旗です。

除雪作業は危険！

令和８年度
雪害事故防止研修会

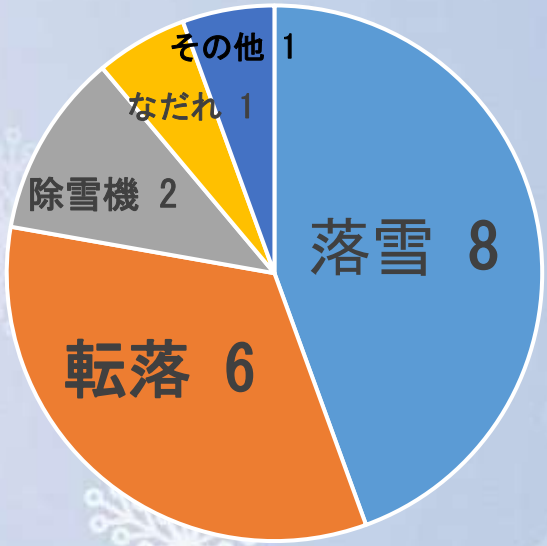
地域住民等が雪害事故の傾向や原因を理解し、安全で正しい雪下ろし作業等の方法を学ぶことにより、雪害事故防止につなげていきます。

開催日時：令和８年１２月１８日（金）
１０：００～１２：００

開催場所：山形県金山町役場第２庁舎
大会議室
（山形県最上郡金山町大字金山４０７）

参加対象：最上地域にお住まいの方
３０名程度

最上管内における過去１０年間の雪による死亡の原因は「落雪」「転落」「除雪機」が多くなっています。
ちょっとした注意で防げる事故は、たくさんあります。
事故を防止するための対策をとり、安全に除雪作業を行いましょう。



研修の内容

✓「事例と経験談から学ぶ雪害事故防止」
✓　実技研修　知って得するロープワーク、ハシゴの安全な掛け方　ほか
講師：国土交通省選任克雪体制づくりアドバイザー　二藤部久三 氏

お問い合わせ・お申し込み先

山形県 最上総合支庁　総務課　防災安全室
☎０２３３－２９－１２０９

【令和８年度　雪害事故防止研修会】

【申込み方法】
　お問合せ先に電話にてご連絡いただくか、下記必要事項を記入の上、
　メールもしくはＦＡＸにて申込ください。
【必要記載事項】
　①参加者氏名（ふりがな）　②連絡先（電話・メール）
【申込期限】
　令和８年１１月３０日（月）
【その他】
　災害の発生や感染症等のまん延状況により、開催を中止する場合があります。
【お問合せ】
　山形県最上総合支庁 総務課 防災安全室
　ＴＥＬ　：０２３３－２９－１２０９　ＦＡＸ　：０２３３－２２－４８４２
　E-mail：ymomgamisomu@pref.yamagata.jp

添書は不要です。

参加者１	所属・役職	氏名	(ふりがな)	連絡先電話番号
参加者２	所属・役職	氏名	(ふりがな)	連絡先電話番号
参加者３	所属・役職	氏名	(ふりがな)	連絡先電話番号

会場案内図



－　令和９年度採用　－
大蔵村職員採用試験受験案内
【２次募集】

◎ **受付期間**

令和８年１１月２４日（火）　～　令和９年１月８日（金）（**必着**・郵送可）
受付時間　午前８時３０分　～　午後５時１５分
（ただし、土・日曜日、年末年始［12/29～1/3］、祝日を除く）

◎ **試験区分及び採用予定人員**

試　　験　　区　　分	採用予定人員
・一般行政職（一般行政に関する事務等）	３名程度

◎ **試験日・試験場**

試 験 日	種　目	時間（予定）	試 験 会 場
令和９年 １月２３日 （土）	作文試験 初級教養試験 職場適応性検査 人物試験	8:50 ～ 16:00 （昼食休憩を挟んで実施します）	大蔵村役場新庁舎 （大蔵村大字合海1425番地）

◎ **受験資格**

試験区分	生年月日・資格等
一般行政職	・平成４年４月２日以降に生まれた方で、高校卒業以上の学歴（卒業見込み者を含む。）を有する者 ・普通自動車免許を有する者又は取得見込の者

◇ **次のいずれか一つに該当する者は受験できません。**

①地方公務員法第１６条の規定に該当する者

ア　拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

イ　大蔵村職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から２年を経過しない者

ウ　日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党、その他団体を結成し、又はこれに加入した者

②日本国籍を有しない者

◎ 試験内容

種　　目	内　　容
作文試験	文章による表現力、構想力等についての筆記試験
初級教養試験	高校卒業程度の一般的知識及び知能についての多肢選択式による筆記試験
職場適応性検査	職場への適応性を職務や対人関係に関連する性格の面からみる検査
人物試験	人柄、性向などについて、面接による口述試験

◎ 合格者の発表

☆　合格者発表　　２月上旬頃　合格者に通知します。

◎ 合格から採用まで

合格者は、身体検査を行って採用内定となりますが、任命の日から６カ月間は条件付採用期間となります。

採用時期は、おおむね令和９年４月１日となりますが、場合によっては、４月２日以降になることもあります。

◎ 給与

給与は、大蔵村一般職の職員の給与に関する条例・規則に基づき支給されます。

◎ 受験手続

◇ 受験申込用紙

- 受験申込用紙は、大蔵村役場総務課で交付します。また、大蔵村のホームページ（https://www.vill.ohkura.yamagata.jp/）からもダウンロードできます。ダウンロードして印刷する場合は、必ずＡ４判の白紙（感熱紙、光沢のある紙などの特殊紙を除く。）に黒色で印刷してください。
- 郵便で請求する場合は、封筒の表に赤字で「採用試験申込用紙請求」と書き、140円切手を貼った宛先明記の返信用封筒（角形２号）を同封して大蔵村役場総務課へお送りください。

▲ 職員募集案内ページ

◇ 受験申込み及び受験票の交付

- 受験申込用紙に必要事項を記入し、申込書と受験票に本人の写真（申込前６ヶ月以内に撮影したもので同一のもの）を貼り、総務課に提出してください。
- 郵送により提出する場合は、封筒の表に赤字で「採用試験受験」と書き、110円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(長形3号封筒)を同封してください。
- 受験申込書の記載事項、写真等が受験申込みの要件を満たしていない場合は、受験申込書を受理しません。
- 受験申込書を受理した場合、申込者に受験票を交付します。

（注）試験当日、受験票のない場合は受験できません。

◎ この試験についての照会は、大蔵村役場総務課総務係までご連絡ください。

大蔵村役場 総務課 総務係
〒996-0212 山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地 TEL0233-75-2111（内線211）
★令和９年１月４日以降は新庁舎へお願いいたします。
〒996-0211 山形県最上郡大蔵村大字合海1425番地 TEL0233-75-2111（内線211）

東北農林専門職大学
Tohoku Professional University of Agriculture and Forestry

R8年度 市 民 講 座 第2講
～森とつながる豊かな生活･環境～

本学は農業・森林業と食の「知の拠点」として、未来を切り開く農業・森林業の専門的人材の育成を目指しています。また、本学では、広く地域社会に貢献するため、一般の皆さまに向けた公開講座を企画・開催しています。最上地域の風土に根ざした新たな文化創造などについて語らい合う場として、多くの方々のご来場をお待ちしています。

▼日時・会場

令和8年１１月２８日(土)

受付開始：１３：００　　開催時間：１３：３０～１５：３０

会場：東北農林専門職大学　交流棟２階　大講義室

▼定　　員　先着60名(受講料無料)

希望者はどなたでも申し込みできます

▼申込締切　11月26日(木) 12:00

※定員になり次第締切

お申込みは
こちら →
または 裏面の
「参加申込書」をFAX

▼講演 第Ⅰ部

演題「豊かな森から豊かな暮らし ～イヌワシ・クマタカが生きる森の未来～」

講師　長野　麻子氏
株式会社モリアゲ代表



プロフィール

愛知県生まれ。愛知県立岡崎高校卒、東京大学文学部仏文学科卒、1994年に農林水産省に入省。林野庁木材利用課長時代に森にハマり2022年６月に早期退職。2022年８月に日本の森を盛り上げる株式会社モリアゲ（https://mori-age.jp）を起業。森林業コンサルタントとして全国の森をモリアゲ中。2025年から「イヌワシ・クマタカの棲む金山の森づくりプロジェクト」に参加。

▼講演 第Ⅱ部

演題「森林と環境を考える」

講師　堀　靖人氏
東北農林専門職大学
森林業経営学科 教授



プロフィール

鹿児島県出身。国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所研究コーディネーターなどを歴任。森林を活かした地域の問題解決手法の研究、林業や森林経営の担い手に関する研究、ドイツの森林と林業に関する研究などに取り組む。主な論文や著書に「森林経営・管理の担い手政策の展開(2008)林業経済研究54(1) 」「グローバル化とドイツ林業(2019)林業経済72(8)」『山村の保続と森林・林業(2000)九州大学出版会』など。

≪お問合せ≫　東北農林専門職大学 企画課
TEL:0233-22-1527　FAX:0233-23-3119　（新庄市大字角沢1366）

【参加申込書】　市民講座 第２講
令和８年１１月２８日（土）開催

東北農林専門職大学　企画課　あて

FAX:0233-23-3119　　申込締切:令和8年11月26日(木)

市町村名　　【　　】

電話番号　　【　　】
　または
メールアドレス　　【　　】

※定員に達した場合等の連絡のため、電話番号　または
　メールアドレスを記入ください。

No.	ふりがな 氏 名	所属・団体名等 (個人の場合は「個人」または「一般」と表記願います)
1		
2		

○講演予定の講師への事前質問

(想定される質問がございましたら記入ください)

≪お問合せ≫　東北農林専門職大学 企画課
TEL:0233-22-1527　FAX:0233-23-3119　　(新庄市大字角沢1366)

東北農林専門職大学
Tohoku Professional University of Agriculture and Forestry

R8年度 市 民 講 座 第3講
～テロワール(風土・食)の座標軸～

本学は農業・森林業と食の「知の拠点」として、未来を切り開く農業・森林業の専門的人材の育成を目指しています。また、本学では、広く地域社会に貢献するため、一般の皆さまに向けた公開講座を企画・開催しています。最上地域の風土に根ざした新たな文化創造などについて語らい合う場として、多くの方々のご来場をお待ちしています。

▼日時・会場

令和8年１２月１２日(土)

受付開始：１３：００　　開催時間：１３：３０～１５：３０

会場：東北農林専門職大学　交流棟２階　大講義室

▼定　　員　先着60名(受講料無料)
希望者はどなたでも申し込みできます

▼申込締切　12月10日(木) 12:00
※定員になり次第締切

お申込みは こちら →

または 裏面の「参加申込書」をFAX

▼講演 第Ⅰ部

演題「日本酒を世界の酒に、
山形を日本酒の聖地に」

講師　仲野　益美氏
出羽桜酒造株式会社
代表取締役社長



プロフィール

山形県酒造組合 元会長、日本酒造組合中央会 前海外戦略委員長、日本の伝統的なこうじ菌を使った酒造り技術の保存会 副会長、東京農業大学 客員教授、東京大学 大学院非常勤講師などを務める。また、東北大学、お茶の水女子大学、山形大学、東北学院大学 等で講義をするなど、幅広く活動。出羽桜は、1980年他に先駆けて「吟醸酒」を発売し、その普及に貢献。世界最高権威のコンテストであるIWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）にて、史上初の2度の世界一に輝くなど、国内外の鑑評会で高い評価を得る。また、早くから輸出に取り組んでおり、現在は世界35カ国以上へ輸出。全国から蔵元後継者の研修を受け入れており、現在まで23名が卒業。自社だけでなく日本酒業界全体の発展の為に技術の共有を行っている。

▼講演 第Ⅱ部

演題「私達はどのような食を望み、
どのような農を目指すべきか
～有機農業と食を考える～」

講師　胡　柏氏
東北農林専門職大学
農業経営学科 教授



プロフィール

愛媛大学連合農学研究科修了、博士（農学）。南九州大学講師・助教授、九州大学助教授、愛媛大学教授を歴任。愛媛大学名誉教授。専門分野は農業経済学。1993年から一貫して環境保全型農業および有機農業に関する研究に従事。主著に『環境保全型農業の成立条件』（農林統計協会、2008年度日本農業経済学会賞）、『原油資材高と不況下における農業・環境問題』（筑波書房、2012年度地域農林経済学会賞）、『有機農業はどうすれば発展できるか』（農文今協、2022）。「有機農産物の価格水準と消費者の価格許容力：米国カリフォルニア州と日本の比較を踏まえて」（『有機農業研究』12(1)、2023年度日本有機農業学会誌論文賞）など。2022年2月に「愛媛県政発足記念日知事表彰」、2023年1月に「きらめき松山市民賞」受賞。

≪お問合せ≫　東北農林専門職大学 企画課
TEL:0233-22-1527　FAX:0233-23-3119　（新庄市大字角沢1366）

【参加申込書】　市民講座 第３講
令和８年１２月１２日（土）開催

東北農林専門職大学　企画課　あて

FAX:0233-23-3119　　申込締切:令和8年12月10日(木)

市町村名　　【　　】

電話番号　　【　　】
　または
メールアドレス　　【　　】

※定員に達した場合等の連絡のため、電話番号　または
　メールアドレスを記入ください。

No.	ふりがな 氏 名	所属・団体名等 (個人の場合は「個人」または「一般」と表記願います)
1		
2		

○講演予定の講師への事前質問

(想定される質問がございましたら記入ください)

≪お問合せ≫　東北農林専門職大学 企画課
TEL:0233-22-1527　FAX:0233-23-3119　　(新庄市大字角沢1366)